

## <スイート/アドバンストUI プロジェクトで、 各パッケージのインストール先を選択させる方法>

注)このドキュメントは、*InstallShield 2014 Premier Edition* を基に作成しています。*InstallShield 2014* 以外のバージョンでは設定名などが異なる場合もあります。

### 概要

スイート/アドバンスト UI プロジェクトでは、MSI や InstallScript ベースのパッケージ(インストーラー)を含めることができますが、MSI パッケージや .hdr ファイルにて追加されたインストーラーはサイレントでインストールされるため、インストール先は各パッケージで設定されたデフォルトのパスとなります。

それぞれのパッケージのインストール先をユーザーに選択させるためには、スイートインストーラー側で取得した値を各パッケージに渡す必要があります。

MSI と InstallScript インストーラーでは、それぞれのインストーラーに値を渡す方法が異なります。

この記事では、スイート/アドバンスト UI プロジェクトのユーザーインターフェイスを使用して、ユーザーにインストール先を選択させ、各パッケージのインストール先を変更する方法を紹介します。

### A. MSI パッケージのインストール先を選択させる

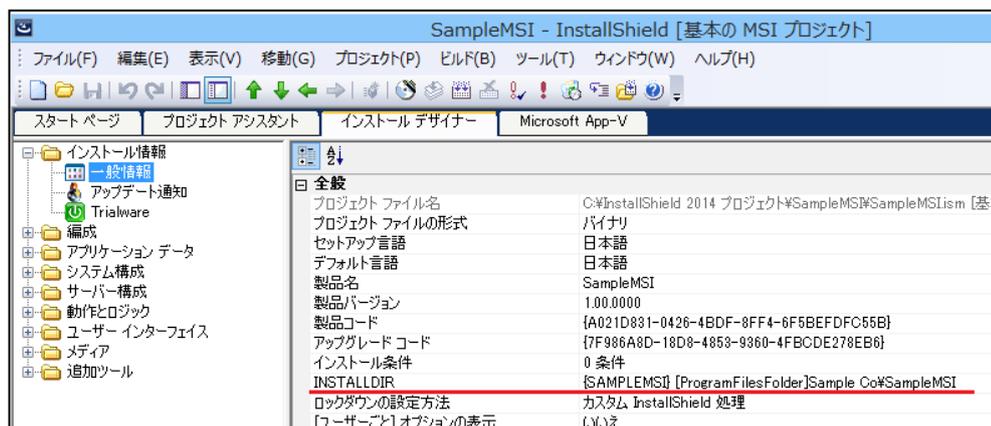
MSI パッケージでは、インストール先のパスは INSTALLDIR プロパティで指定ができ、コマンドラインから INSTALLDIR の値をパッケージに渡すことが可能です。

スイートインストーラーのダイアログでユーザーにインストール先を選択させた場合、パスの値を MSI パッケージの INSTALLDIR プロパティとして MSI パッケージに渡す必要があります。

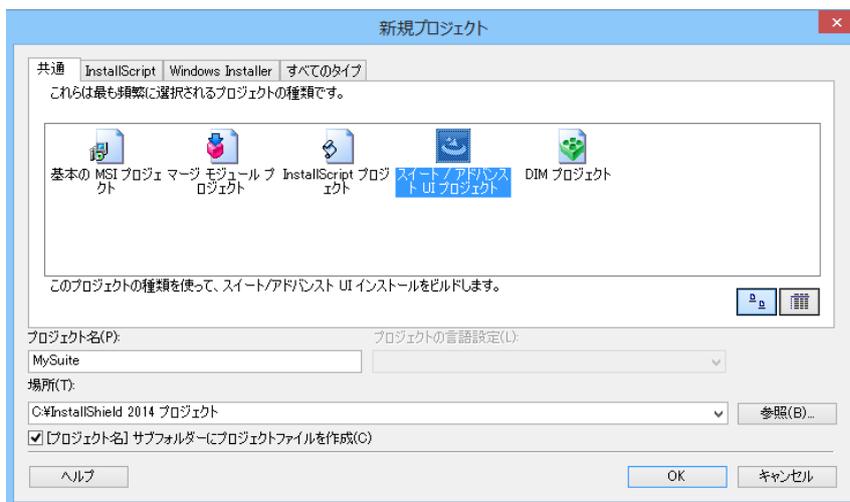
スイートのウィザードインターフェイスでは、MSI のインストール先を指定するダイアログが雛形として用意されていますので、今回はそのダイアログの使用方法を紹介します。

ここでは、SampleMSI.msi インストーラーをパッケージに含めるものとします。SampleMSI.msi のデフォルトのインストール先は、以下のとおり設定されています。

[ProgramFilesFolder]Sample Co¥SampleMSI



1. スイート/アドバンスト UI プロジェクトを作成します。プロジェクト名は、「MySuite」とします



2. [編成]—[機能]ビューで、[機能]アイコン右クリックして[新しい機能]を選択します

機能名	SampleMSI
表示名	MSI インストーラーサンプル



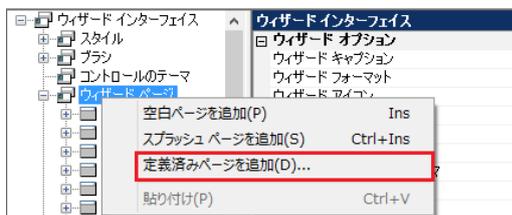
3. [編成]—[パッケージ]ビューで、[パッケージ]アイコン右クリックして[新しい Windows Installer パッケージ (.msi)]を選択します

4. 「SampleMSI.msi」ファイルを選択し、[何も追加しない]を選択します

※SampleMSI.msi は、単一の .msi パッケージです

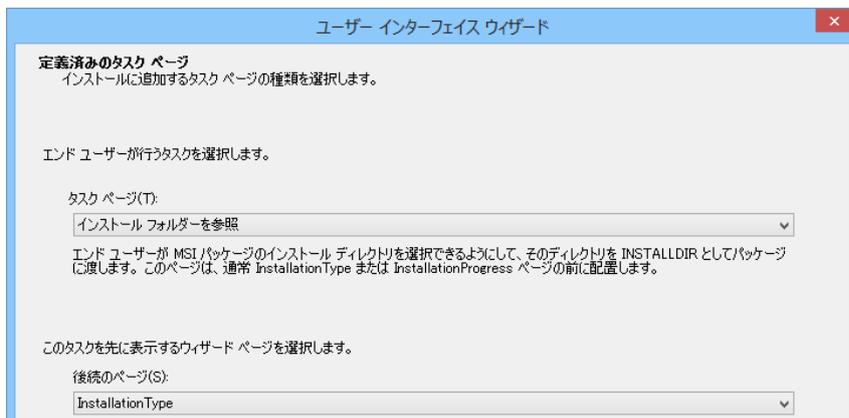


5. [ユーザー インターフェイス]-[ウィザード インターフェイス]ビューで、[ウィザード ページ]アイコンを右クリックして、[定義済みページを追加]をクリックします

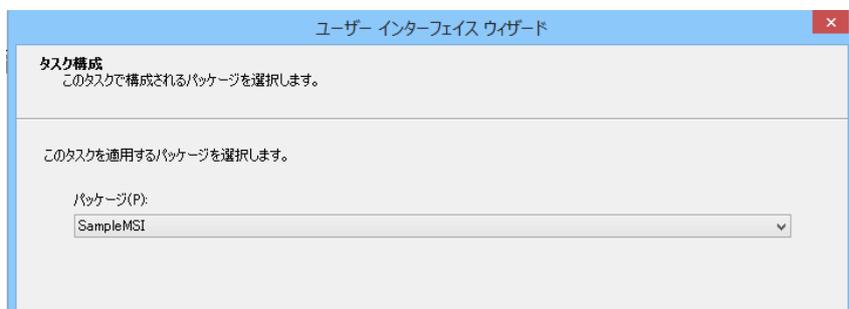


6. ユーザーインターフェイスウィザードが起動したら、[定義済みのタスク ページ]で以下の設定を行い、[次へ]ボタンをクリックします

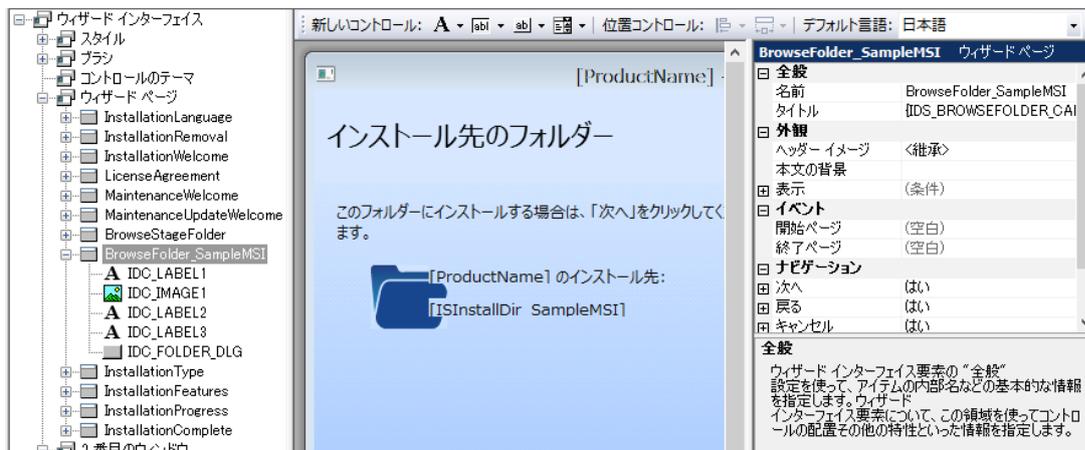
タスクページ	インストール フォルダを参照
後続のページ	InstallationType



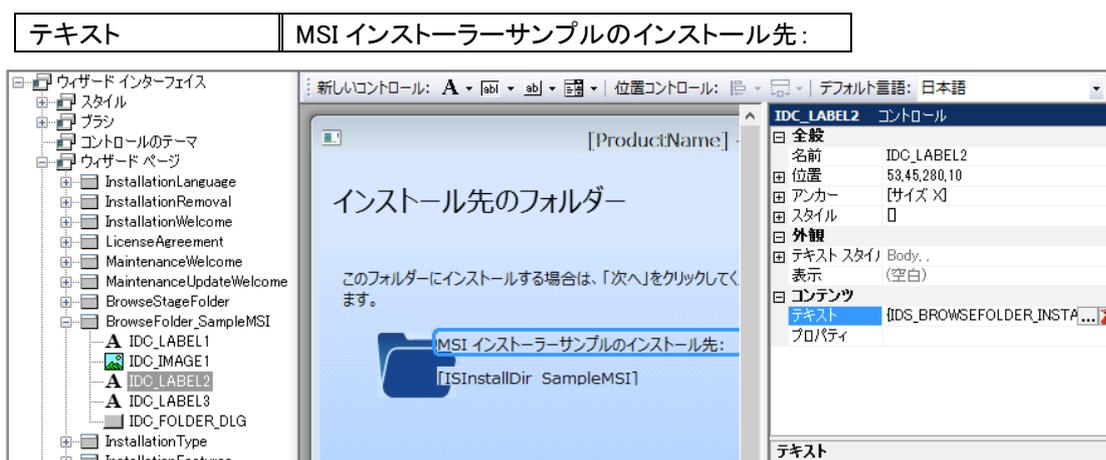
7. [タスクの構成]のページで、インストール先を指定したいパッケージ「SampleMSI」を指定し、[完了]をクリックします



## 8. [BrowseFolder\_SampleMSI] ページが追加されます



## 9. [BrowseFolder\_SampleMSI] の [IDC\_LABEL2] を選択し、[テキスト] を以下の内容に変更します



## 10. IDC\_LABEL3 を選択し、[プロパティ] 名を確認します

プロパティ: ISInstallDir\_SampleMSI

## 11. [動作とロジック] - [プロパティ マネージャー] を表示し、手順 10 で確認した「ISInstallDir\_SampleMSI」の値をデフォルトのインストール先に変更します

例) 以下は、SampleMSI インストーラー自体のデフォルトのインストール先に変更しています

ISInstallDir\_SampleMSI: [ProgramFilesFolder]Sample Co¥SampleMSI



## 12. ビルド後、スイートインストーラーを実行します

「インストール先のフォルダー」ダイアログでインストール先を変更し、ファイルのインストール先が変更されていることを確認します

●INSTALLDIR に ISInstallDir\_SampleMSI プロパティの値が渡される仕組み

[定義済みのタスクページ]で「インストール フォルダを参照する」ダイアログを作成すると、パッケージの[共通]タブでインストール時のコマンドラインが自動的に設定されます。図のように、ダイアログで指定したパスが ISInstallDir\_SampleMSI プロパティにセットされ、その値が MSI パッケージに [INSTALLDIR]として渡されます。

共通	機能
<b>SampleMSI</b> パッケージ	
<input type="checkbox"/> ログの有効化	いいえ
<input type="checkbox"/> 検出条件	(空白)
<input type="checkbox"/> 対象条件	(条件)
Windows の機能	0 定義済み
リリース フラグ	
<b>操作</b>	
<input type="checkbox"/> インストール	はい
ターゲット	SampleMSImsi
MSI コマンドライン	INSTALLDIR="" [ISInstallDir_SampleMSI]
MSI サイレント コマンドライン	INSTALLDIR="" [ISInstallDir_SampleMSI]
再起動の要求	コンピューターの再起動を許可する
<input type="checkbox"/> 削除	はい
<input type="checkbox"/> 修復	はい
<input type="checkbox"/> 変更	はい

## B. InstallScript パッケージのインストール先を選択させる

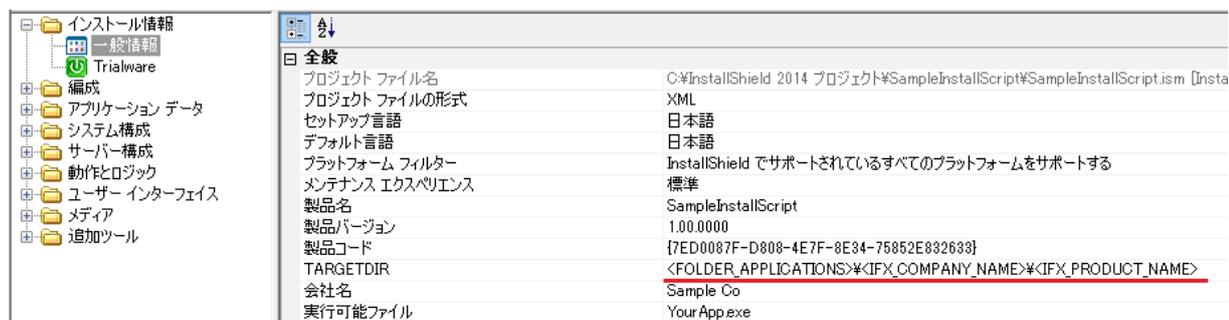
InstallScript パッケージでは、インストール先のパスは TARGETDIR システム変数で定義されています。スイートインストーラーのダイアログでユーザーにインストール先を選択させる場合、あらかじめ InstallScript インストーラー側でスイートのプロパティを取得するコードを記述しておく必要があります。

今回は、スイートインストーラーのダイアログでパスを取得する方法と、InstallScript インストーラー側で必要な実装について紹介します。

ここでは、SampleInstallScript インストーラーをパッケージに含めるものとします。SampleInstallScript のデフォルトのインストール先は、以下のとおり設定されています。

```
<FOLDER_APPLICATIONS>¥<IFX_COMPANY_NAME>¥<IFX_PRODUCT_NAME>
```

一般的には、「C:\Program Files¥Sample Co¥SampleInstallScript」です。



手順 A で作成したプロジェクトを、引き続き使用します。

1. スイートプロジェクトに追加する InstallScript プロジェクトを開きます
2. [動作とロジック] – [InstallScript]ビューを表示します
3. 上部のスクリプトツールバーで、[Before Move Data] – [OnSuiteInstallBefore]を選択します



4. OnSuiteInstallBefore() イベントに、以下のコードを追加します

```

-----
// OnSuiteInstallBefore
//
// Suite Install sequence - Before Move Data
//
// The OnSuiteInstallBefore event is called by OnSuiteShowUI. By default,
// this event is called to allow for initializing any information necessary
// to perform file transfer (such as setting feature selections).
//
// Note: This event will not be called automatically in a
// program...endprogram style setup.
-----
function OnSuiteInstallBefore()
    string szMsg, svINSTALLDIR;
begin
    SuiteGetProperty("ISInstallDir_IScript",svINSTALLDIR);
    TARGETDIR=svINSTALLDIR;
    FeatureConfigureFeaturesFromSuite(CMDLINE);

    szMsg = SdLoadString(IDS_IFX_STATUSEX_STATICTEXT_FIRSTUI);
    SdSubstituteProductInfo(szMsg);
    SetStatusExStaticText(szMsg);
end;
    
```

※SuiteGetProperty 関数は、スイートインストーラーのプロパティを InstallScript インストーラー内で取得するための関数です。ここではスイートインストーラーの ISInstallDir\_IScript プロパティの値を InstallScript インストーラーの TARGETDIR にセットする処理を追加しています。

5. プロジェクトをビルドして、インストーラーを生成します

※InstallScript プロジェクトをスイートインストーラーに追加するには、非圧縮形式でビルドする必要があります

6. 手順 A で作成した MuSuite プロジェクトを開きます

7. [編成]—[機能]ビューで、[機能]アイコン右クリックして[新しい機能]を選択します

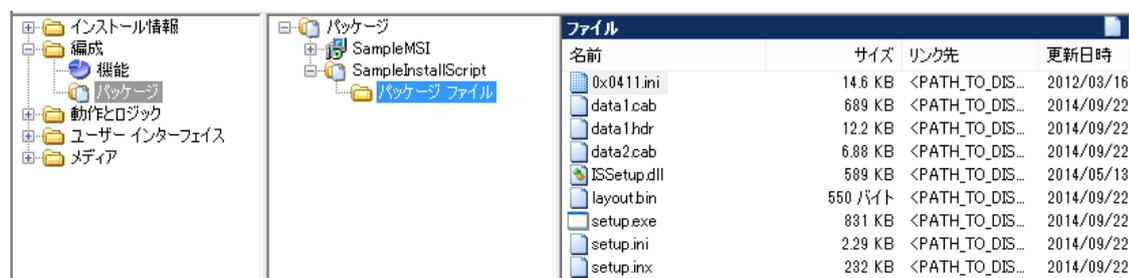
機能名	SampleInstallScript
表示名	InstallScript インストーラーサンプル



8. [編成]–[パッケージ]ビューで、[パッケージ]アイコン右クリックして[新しい InstallScript パッケージ (.hdr)]を選択し、追加したい InstallScript パッケージの「data1.hdr」を指定します

※InstallScript パッケージ (.hdr)として追加できるのは、InstallShield 2012 Spring 以降で作成した InstallScript パッケージのみです

9. 新しく追加されたパッケージの名前を「SampleInstallScript」とします



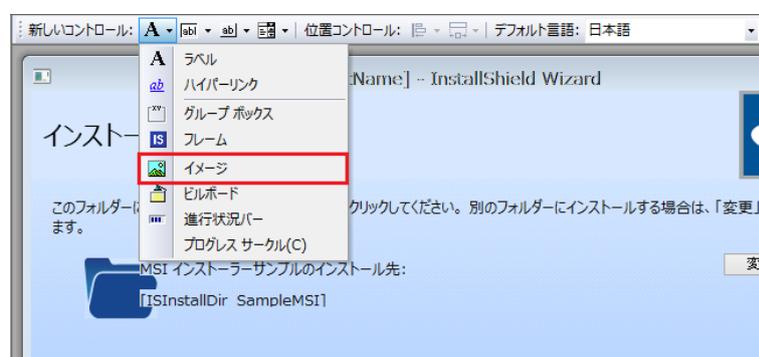
10. [機能]タブで、「SampleInstallScript」パッケージを「SampleInstallScript」機能に関連付けます



11. [ユーザー インターフェイス]–[ウィザード インターフェイス]ビューで、[BrowseFolder\_SampleMSI] ページを表示します

※今回は、[BrowseFolder\_SampleMSI] ページに InstallScript パッケージのインストール先を変更するコントロールを追加しますが、新規に空白ページを作成して、コントロールを配置することも可能です。

12. 上部の **A** ボタンをクリックして、[イメージ]を選択します



13. 右の設定画面でリソースの[▼]ボタンをクリックし、「Folder.png」を選択します。イメージコントロールのサイズや位置を調整します



※手順 A で Folder.png がサポートファイルに追加されているため、[▼]ボタンで画像ファイルを選択できます

14. 上部の **A** をクリックして[ラベル]を選択し、以下の設定を行います。サイズや位置も調整します

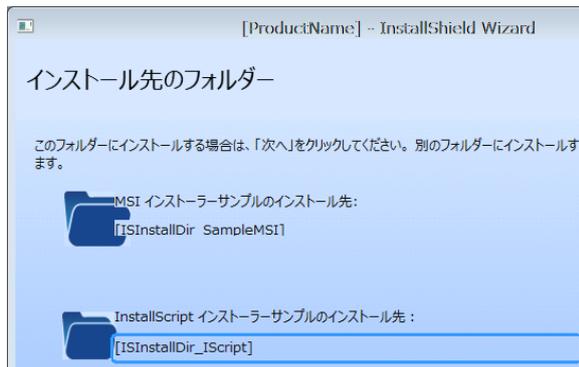
名前	IDC_LABEL4
テキスト スタイル	デフォルト: Body
テキスト	InstallScript インストーラーサンプルのインストール先



15. 再度、上部の **A** をクリックして[ラベル]を選択し、以下の設定を行います

名前	IDC_LABEL5
テキスト スタイル	デフォルト: Body
テキスト	test
プロパティ	ISInstallDir_IScript

16. 次に、テキスト横の[削除]ボタンをクリックします。また、コントロールのサイズや位置も調整します

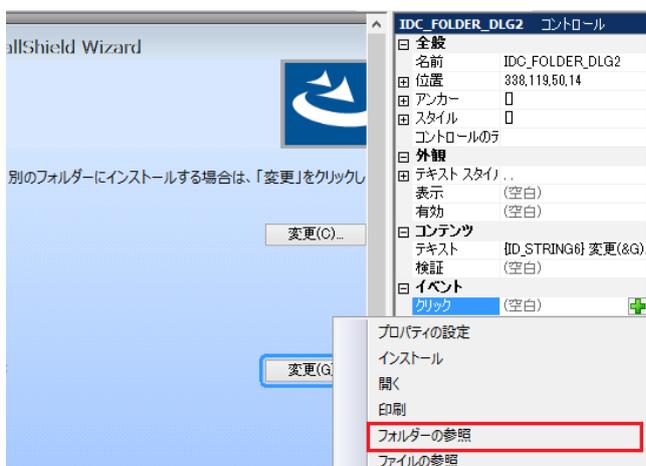


※テキストを削除すると、□で囲まれたプロパティ名が表示されます。

17. 次に、上部の  ボタンをクリックして[ボタン]を選択し、以下の設定を行います。

名前	IDC_FOLDER_DLG2
テキスト	変更(&G)...

18. [イベント]ー[クリック]で緑の[+]をクリックし、[フォルダーの参照]を選択します

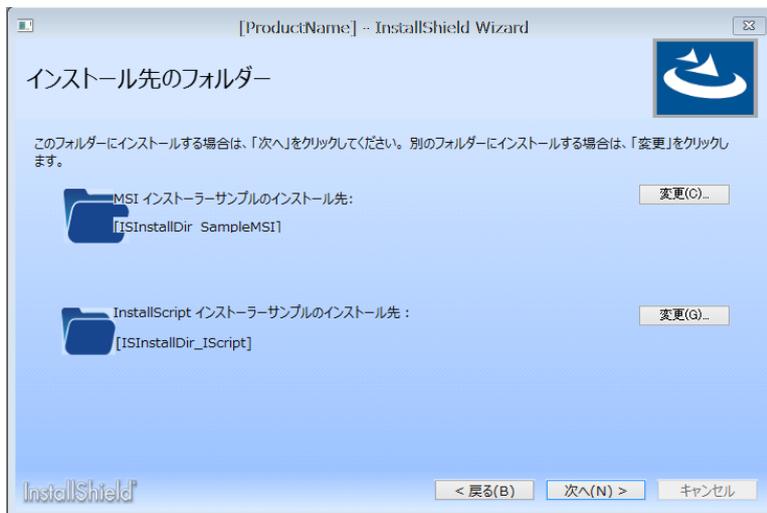


19. [プロパティ]と[説明]を以下のとおり設定します

プロパティ	ISInstallDir_IScript
説明	InstallScript インストーラーサンプルのインストール先:



## 20. 最終的なダイアログイメージは、以下のとおりです

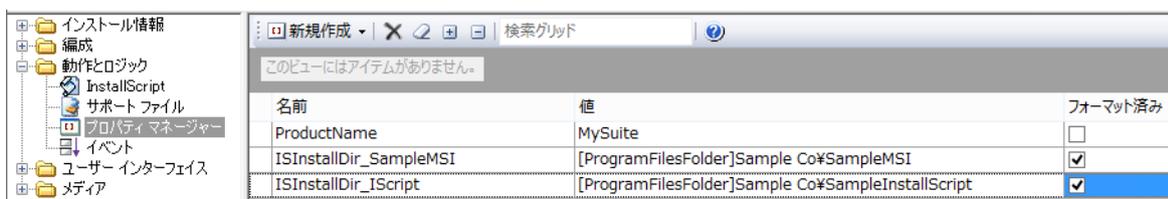


## 21. [動作とロジック] - [プロパティ マネージャー] で [新規作成] ボタンをクリックし、「ISInstallDir\_IScript」プロパティを作成します。値をデフォルトのインストール先に変更します

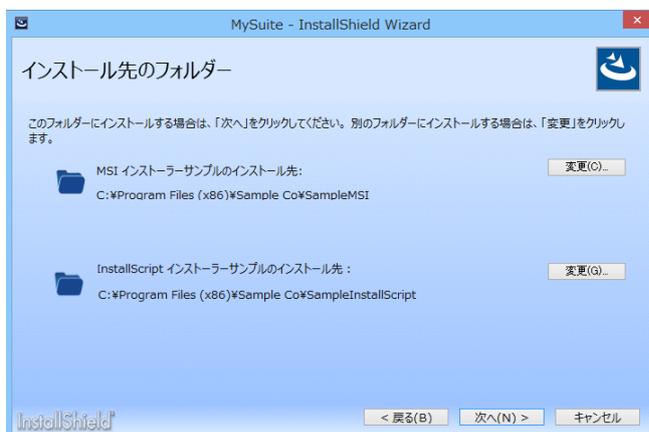
例)

名前	ISInstallDir_IScript
値	[ProgramFilesFolder]Sample Co¥SampleInstallScript
フォーマット済み	ON

※[ProgramFilesFolder]のように実行時にプロパティの値に解決し置換する文字列の場合、「フォーマット済み」のチェックが必要です



## 22. ビルド後、スイートインストーラーを実行します



「インストール先のフォルダー」ダイアログで「InstallScript インストーラーサンプルのインストール先」を変更し、ファイルのインストール先が変更されていることを確認します

**● OnSuiteShowUI イベント**

スイート/アドバンス UI インストールで InstallScript パッケージが起動されたとき、OnSuiteShowUI イベントが呼び出されます。OnSuiteShowUI イベントは、スイート/アドバンス UI インストールから InstallScript パッケージに渡される機能を初期化し、ファイルの転送を開始します。OnSuiteShowUI イベントではユーザー インターフェイスは表示されません。

OnSuiteShowUI では、インストール状態（初回インストール、メンテナンス、またはアップデート）に応じて、次のイベントが呼び出されます。OnFirstUIBefore や OnFirstUIAfter などの通常の InstallScript の UI イベントは無視されます。

- ・ 初回インストール—OnSuiteInstallBefore、OnSuiteInstallAfter
- ・ メンテナンス—OnSuiteMaintBefore、OnSuiteMaintAfter
- ・ アップデート—OnSuiteUpdateBefore、OnSuiteUpdateAfter

**● スイート/アドバンス UI パッケージと InstallScript パッケージとの対話**

InstallScript には、InstallScript パッケージを含むスイート/アドバンス UI インストールと対話するための関数が含まれています。これらの関数は、InstallScript アクションを通して実行中のスイート/アドバンス UI インストールと対話することができます。

例えば、スイート/アドバンス UI パッケージと InstallScript パッケージとでプロパティの受け渡しをするには、以下の対話関数が利用できます。

**SuiteGetProperty**

InstallScript パッケージ内でスイート/アドバンス UI インストールからプロパティの値を取得します。

**SuiteSetProperty**

InstallScript パッケージから、スイート/アドバンス UI パッケージへプロパティの値を設定します。

その他の対話関数については、以下の製品ヘルプを参照してください。

製品ヘルプ：スイート/アドバンス UI およびアドバンス UI の対話関数

以上